



子育て伴走「だいじょうぶ！」通信 No. 19
～みんな大切 笑顔あふれる家庭とこども園に～



R 8. 4. 2 1 やすぎこども園 園長 福島朗博

◆園風景から

こども園の4月も早や半ばをすぎました。送りのときは大粒の涙が出た新入園児さんも大分慣れてこられた様子で、お友だちの中に交じって楽しそうに遊んでいますよ。でも、まだ朝の送りのときは「行きたくない」と、“うるうる” かもしれませんね。進級した子も新しいクラスの環境に変わって“ドキドキ”の気持ちで頑張っているかもしれません。中でも年長児さんは、そら組で年中児さんを迎えてお兄さんお姉さんらしくふるまって頑張っているの、家に帰ったら疲れや甘えが出て、やんちゃを言っているかもしれませんね。でも、こちらでも家庭で自分の気持ちをしっかり出せていることは、とてもいいことだなと思います。

そんな“ちょっと大変”なとき、親としてどうかかわって対応したらいいのでしょうか。次のメディアの最近のトピックスから拾って、子育てのヒントを考えてみたいと思います。

◆子ザルのパンチくんと「ムギユの日」 ～安心感というもの～

2月頃から SNS など話題を集めた市川市動植物園の子ザルのパンチくん。昨年の出産直後に母ザルが育児放棄したため、飼育員が代わりに育てることになり、しがみついて安心できるよう、手足が長くてつかみやすいオランウータンのぬいぐるみを与えて抱かせました。サル山で他のサルとの共同生活が始まって、いじめられたり、けんかをして身の危険や不安を感じたりすると、ぬいぐるみの“母親”の元へかけていきます。そして体を寄せて安心するのです。SNS では、ぬいぐるみを引きずり回して動いているパンチくんが「かわいい！」と評判ですが、私は母親代わりのぬいぐるみに安心感を寄せているパンチくんの様子に安堵して、このまま健やかに成長しますようにと祈る気持ちで見っていました。



左が子ザルのパンチくん
(市川市動植物園提供の写真)

パンチくんの話にちなんで、興味深いことに、親から隔離してサルに行った古い実験では、タオルなどのふわふわしたものでも同様で、困ったとき不安なときにしがみついて安心させてもらえることで、サルは正常な発達をとげたそうです。しかし、それが与えられなかった場合は、自閉的な行動の異常が現れ、いつも脅えた様子が見られたとのことです。つまり、怖いものが出てくるなどの身の危険と常に隣り合わせで、安心感の得られない不安続きがそうした育ちにさせたものと考えられます。

つまり、タオルやぬいぐるみを母親代わりに抱くことの安心感が蓄えられて気持ちが安定することで、外に向かう行動がおこせるようになります。子どもが「自分も遊びに参加したい！」という意欲は、気持ちの安定があってこそ出てくるものですね。お友だちの遊びを見ていて「遊びたいけど、入れないの」という不安と葛藤のときは、傍らで見守って「大丈夫よ」とふれたり抱っこしたりして受け止めてあげると、徐々に気持ちが充

安心感というもの

- ・ 困ったときにしがみついて安心させてもらえるもの
- ・ 気持ちの安定 安心感の蓄え
- ・ 外へ向かう力の原動力
- ・ 情緒や社会性の発達の土台



👉親子の間で行われる相互のキャッチボールが関係をさらに太くしていく

意欲は

意欲

安定



気持ちの安定や安心感の上ののっかかる

たされてきて行動のスイッチが入ります。大人もそうですよね。

もう一つは、先日の NHK ニュースで取り上げられていた、ある小学校で2か月に1回行われる「ムギユの日」。家族とハグする宿題が出される日です。航海業の仕事で久しぶりに帰ってきた父親と思春期にさしかかった娘が学校の宿題でハグする場面は、お互い仕方なさそうに照れくさそうで、ぎこちない様子だったのが、次第にほぐれて親子が笑顔になっていく様変わりは、画面越しにとっても微笑ましく、こちらも“ムギユ♡”と胸をつかまれる思いでした。小学校で親子にこんな素敵な宿題が出されるなんて！と感動しました。



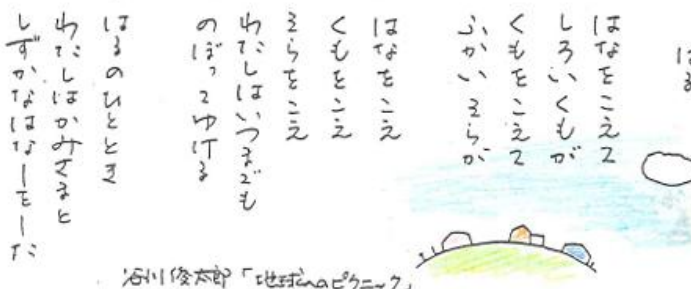
抱っこやハグをされているときは、オキシトシンという幸せホルモンが分泌されるといいます。この小学校の子どもたちのように家族でハグをしてもらったときに、「守られている安心感」で幸せホルモンが脳や体中に湧き出て、幼い頃の抱かれた記憶も懐かしく蘇ってくるのではと想像したくなります。そんなことで、これまでわが子に十分にかかわれてなかったかなと思われた保護者には、ぜひ今からでも“ムギユ♡”体験をお勧めします！「いい子だね」「かわいいね」「だいすきだよ」と一声そえながら。

冒頭の問いかけに戻ります。どのお子さんも新しい環境と集団の中で頑張っています。夕方になって迎えに来られた保護者さんの顔を見たら、それまでの緊張がほぐれて安心し、家に帰って疲れや甘えがどっと出てくるのでしょうか。親も同じように疲れているので、不機嫌な子どもをなだめたりして大変ですが、一呼吸おいて、家事や他のことの手を休めて「今日もがんばったね」「よくがんばってるね」「だいじょうぶだよ」とギュッと抱きしめて、スキンシップで気持ちを受け止めてあげてくださいね。そうやって、にっこり笑顔になった我が子とお互いに充電♡できますように！

◆谷川俊太郎さんの詩から ~春にちなんで~

昨年に亡くなられた谷川俊太郎さん。私は子どもの純真な気持ちを詠うこの詩人が大好きすぎて（長男に同じ名前をつけたぐらいで、郎は私の朗をあてました）、若いときは学校のクラスだよりに手書きで載せて紹介していました。

この季節に合わせて、わくわくドキドキ♡している子どものココロを一緒に感じてみてください。



園長の

ことば&子育て相談日 今年度も月1回土曜日に行います
ご希望の方は平日でも受けつけます

園長だよりバックナンバーは
やすぎこども園 HP で見れます